

第8回中心市街地活性化勉強会 報告書

日 時 平成21年10月19日(月) 19:00～21:00
場 所 小田原箱根商工会議所 会員談話室
経 過

中心市街地商業活性化アドバイザー佐谷氏の進行により進められた。

前半は各分科会を行い、後半は全体会として、分科会の内容について報告がされた。その後、両分科会の関連性について佐谷アドバイザーより解説がされ、意見交換がされた。

○分科会報告

<Aチーム>

欠席者がでていたりしてしまったので、次回までの間にもう一度入れる形で調整する。写真も撮る人によって視点が異なっているという発見があった。

どういう形でまとめるかを今後地図に落としながら整理していかないといけないのでやってみたい。その地区の性格のようなものを見出していく。

<Bチーム>

関東学院大学の学生と懇談の機会を設けた。話を聞いてよかった。「興味はあるけれど知らない」「これから知っていきたい」「協力していきたい」というのを聞くことができた。

国際福祉大学、小田原女子短期大学、関東学院大学というものがあって、学生が何千人もいるのに避けて通れない話だよな・・・ということでは。本線の方ではなかなか入りにくい今後の運営していく体制の中で努力が出来るのではないかと。

周辺市街地をまとめていくのにあたって、先人が知恵を絞ってまとめたものが実行できなかった問題はどんなものなのか。まちづくり会社という運営母体が必要になる。

まちづくり会社の運営について、前回の分科会の終了時に実施したい事業を募集。今回、何百項目もがあがった。これを松本アドバイザーにまとめていただき、まちづくり会社の行う事業について、コミュニティバスなどの運行に関する事業、商店街振興および再開発に関する事業、地下街に関する事業、受託事業(駐車場の運営管理)そのたとしてクーポン券の発行、まちなか広場の運営、プリペイドカードの発行、美化・・・など)そういった具体的な項目を上げながら、まとめてきた。今回、その読み合わせを行った。

次回に向けては、これを実際に行う組織としてどんな人たちが必要なのか。今までにも先人の方がやっていた組織というものがあつたが、我々では「こういう人がいないとまちづくり事業ができないよね」という人を(個人名ではなく)挙げ、組織を考えていきたい。最終的に、組織と事業項目(計画までいかなくとも)をまとめたいと思う。

<質疑応答>

佐 谷＝事業の優先順位はあるか

- a = 挙げた事業は多数だったが、現実的に例えば駐車場運営といっても、既存のものなのか新設するのかによっても予算が全く違う。この段階で優先順位をつけるのは項目がありすぎて難しい。「こういうことはやりたい」というのは見えてきた。実際には「どこに」「だれが」というのが決まらないと実行できないのではないかと。

決まっていることは「中心市街地から外れることはやめよう」「ギャンブル性のあるものはやめよう(公共性があっても)」「自立できる組織にしよう(補助金があったとしても)」そこで優先順位が決まるだろう。

松本=(補足)今回の勉強会でBチームがやっていくことは①中心市街地活性化にとってのまちづくり会社という役割や必要性について挙げていくということ。②主な事業項目の抽出、③中心的な事業について(事業の柱)になるものは何か…を抽出、④それを実現するための組織作りの考え方、⑤適正人材と資金計画(こういうところがステークホルダーとなり、資金提供や資本金の出資が絡むのでは)、⑥運営計画・・・までできれば理想的だが、この中では限界があるので、この中ではある程度のエッセンスとしてまとめるまでできれば。これをA分科会のグランドデザインと合体することによって、中心市街地活性化の何らかの軸が見えていくというところまでできれば幸い。

佐谷=A分科会では現時点ではそこまで達していないが、各々のエリアの特徴づけをして、そこに対してどのように回遊をさせるか、また、住んでいる方に喜んでいただけるかとか・・・をどういう形で纏め上げていくのかをやっていく。次回の時にはもう少し進んだ状況を報告したい。

○次回以降の開催について

事務局より次回以降の日程について出席者に確認がされた。

A分科会は11/9(月)、B分科会は11/10(火)、全体会(最終)は11/27(金)。A分科会については、9日の前に1回開催をする。日程については後日調整のうえ決定する。最終の27日にはA・B分科会をすり合わせて終了とする。

また、松本アドバイザーより「この勉強会で纏め上げたものを多くの方に聞いて欲しい」と、市長・市民を含む公聴会の実施について提案がされた。また「その間には時間があるので、その時にA・B分科会をすり合わせ発表したらどうか」「この意見は必ず中心市街地活性化協議会のトップの方や会議所、商連など色々な方に聞いていただく機会を設けないと、実施しただけに終わってしまう。このときに集っていただいて、質疑応答など積極的な会合にできればと思う」と述べられた。

これを受け、佐谷アドバイザーより「公聴会の前に実施すべきこととして、この勉強会は中心市街地活性化協議会のもとで実施しているので、協議会への報告義務があるので、それを経てから。また、市長の意向もあるので、市長への報告をしなくてはならない。その上でご意見などもいただき、最終のものを公聴会などでできれば」とされた。

また、時期については「12月中に協議会会長と市長への報告を行い、公聴会の実施については、来年1月の段取りになる。今後のスケジュールについては事務局で調整し、全体会の11月27日には明確にできるようにする。」と返答がされた。

以上

<当日出席者> *順不同・敬称略

岩瀬照子、金井俊典、平井義人、佐藤慎一、石田一夫、古川達高、古川孝昭、豊住武志、中戸川洋